



SYNERGISTIC
RESEARCH
NEVER COMPROMISE

HFT Speaker Kit

取扱説明書

2024 年 11 月版

はじめに

HFT スピーカーキットには、HFT スタンダード x 3、HFT2.0 x 2、HFT X x 2 の合計7個が入っています。それぞれ下記の通り色分けされています。

HFT スタンダード



HFT2.0



HFT X



各モデルの特徴

HFT スタンダード

HFT スタンダードは最もバランスの取れた HFT チューニングモデルで、より音楽のリアリズムを強調し、立体感のある音場を作り出します。

低域から高域までバランスよくチューニングする HFT モデルです。

HFT2.0

HFT2.0 は、より温かみを出したい場合に使用します。HFT スタンダードや、HFT-X との組み合わせで使用すると相乗効果を発揮します。

HFT-X

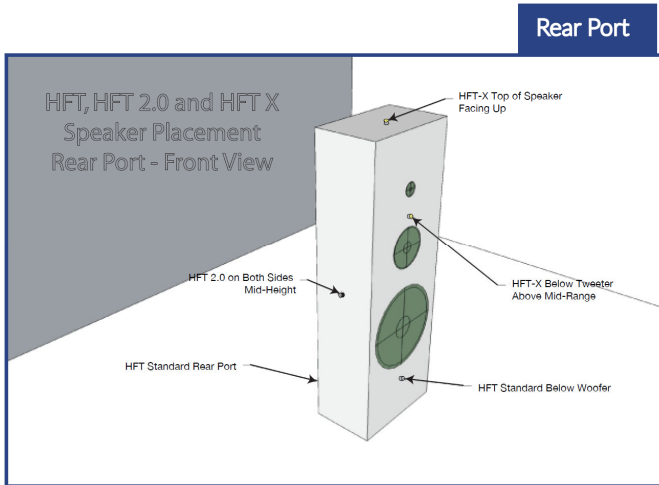
HFT-X は、音楽のフォーカスや解像度、空気感を強調したい際に効果的です。HFT スタンダードや HFT2.0 と組み合わせることにより、バランスの取れた音場を作り出すことができます。

取付方法

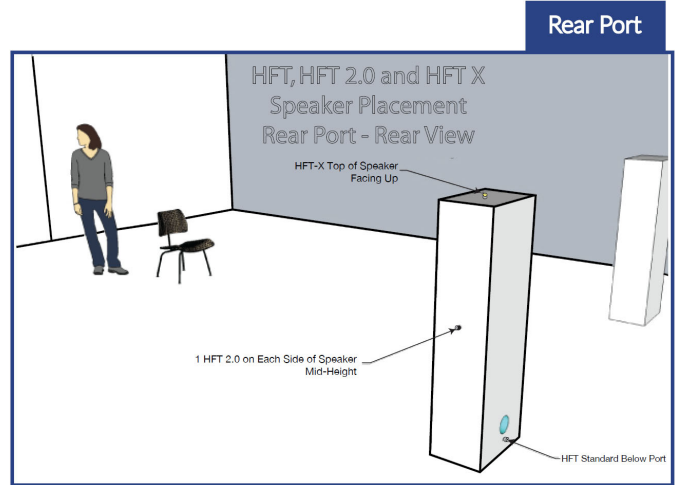
HFT を取り付ける際は、付属のミュージアムボンドを少量ちぎってご使用ください。付属のミュージアムボンドは博物館でも使用できる程の物質安定性を兼ね備えており、スピーカーに接着跡を残しません。

注意: 接着箇所が布で覆われている場合、HFTはご使用になれません。接着粘土が布繊維に絡まり取れ残ってしまう可能性があります。

HFT設置場所 背面ポートスピーカーの場合



前面



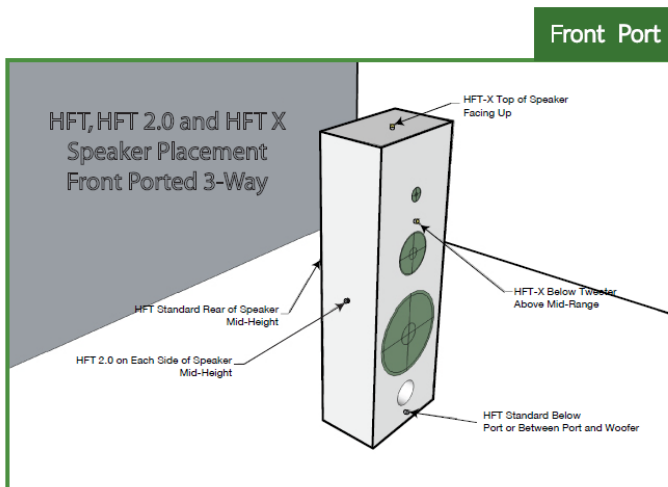
背面

HFT-X を天板とツイーターとスクーカー間に設置

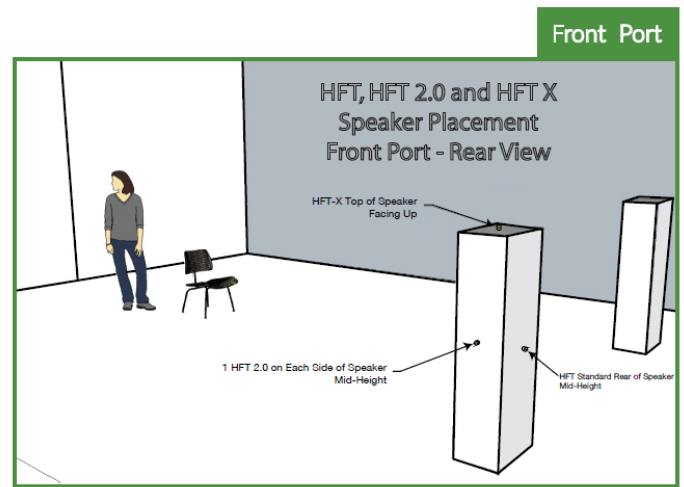
HFT2.0 を両側面に設置

HFT スタンダードをウーファー下、ポート下に設置

前面ポートスピーカーの場合



前面



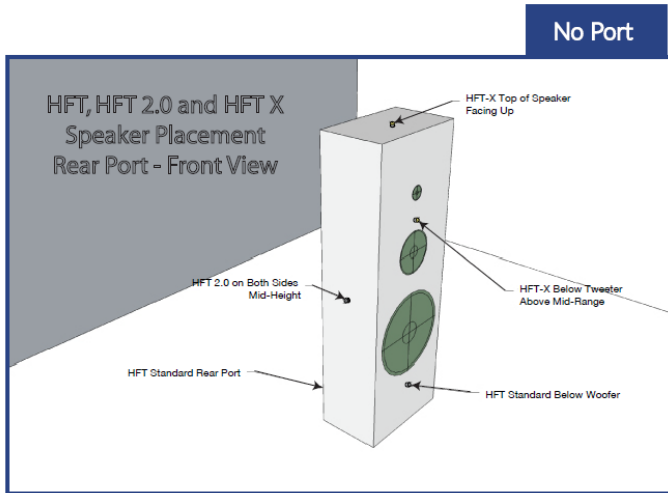
背面

HFT-X を天板とツイーターとスクーカー間に設置

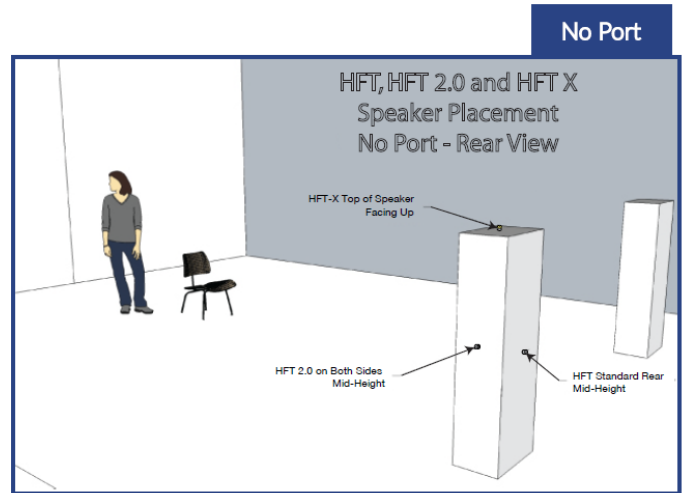
HFT2.0 を両側面に設置

HFT をポート下、背面の中心(高さに対して中心)に設置

密閉型スピーカーの場合



前面



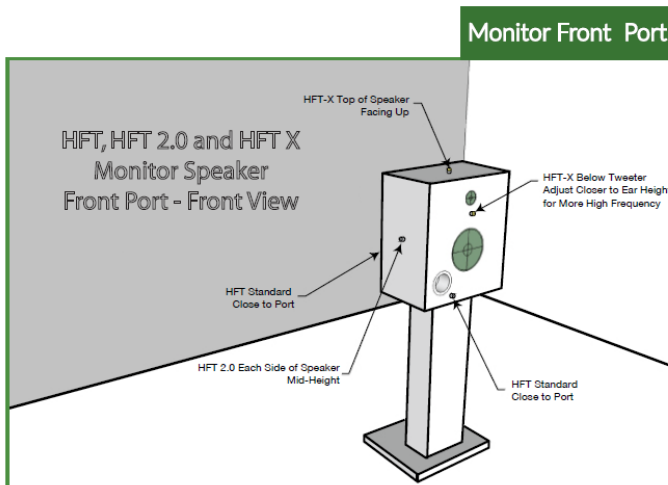
背面

HFT-X を天板とツイーターとスピーカー間に設置

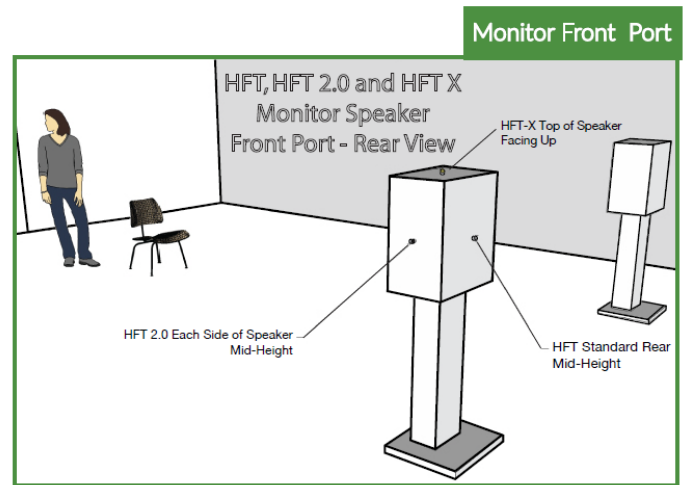
HFT2.0 を両側面に設置

HFT をウーファーの下、背面の中心(高さに対して中心)に設置

前面ポート型ブックシェルフスピーカーの場合



前面



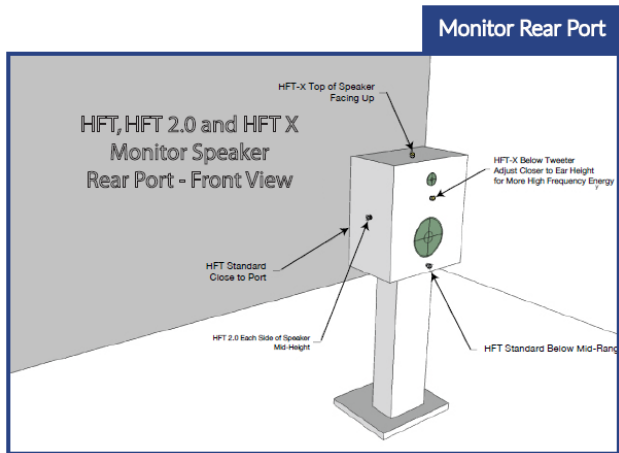
背面

HFT-X を天板とツイーターとスピーカー間に設置

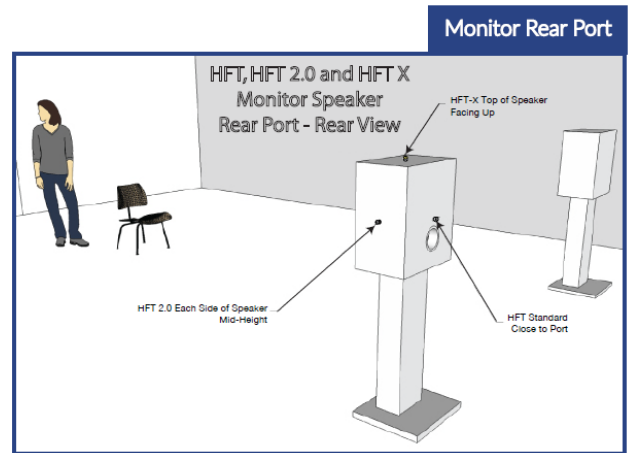
HFT2.0 を両側面に設置

HFT をポートの下、背面の中心(高さに対して中心)に設置

背面ポート型ブックシェルフスピーカーの場合



前面



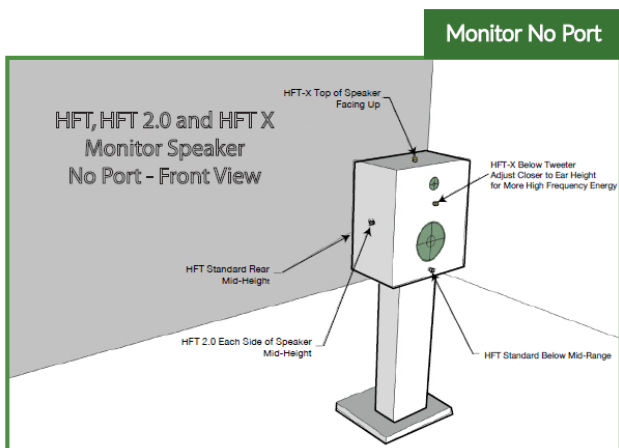
背面

HFT-X を天板とツイーターとスクーカー間に設置

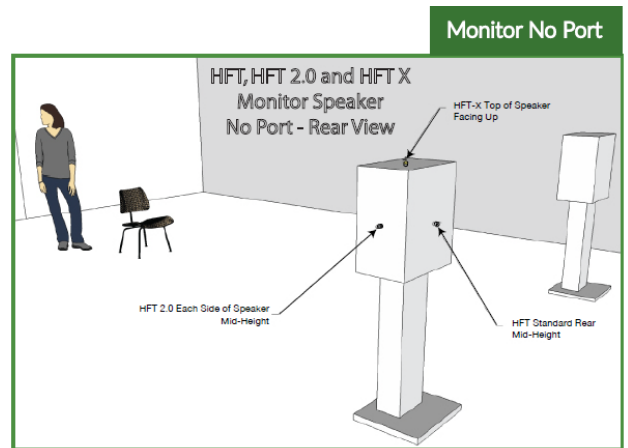
HFT2.0 を両側面に設置

HFT をウーファーの下、ポート上部に設置

密閉型ブックシェルフスピーカーの場合



前面



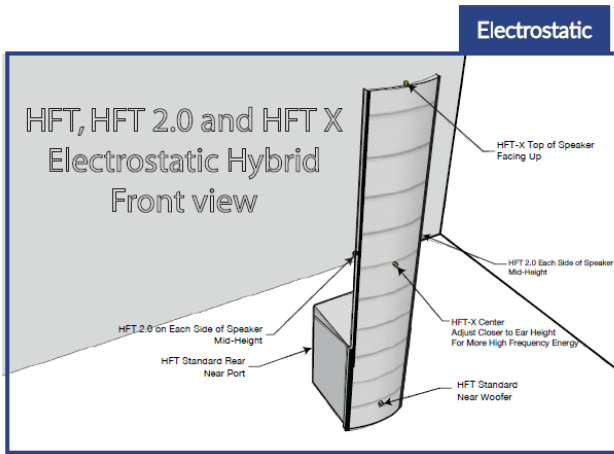
背面

HFT-X を天板とツイーターとスクーカー間に設置

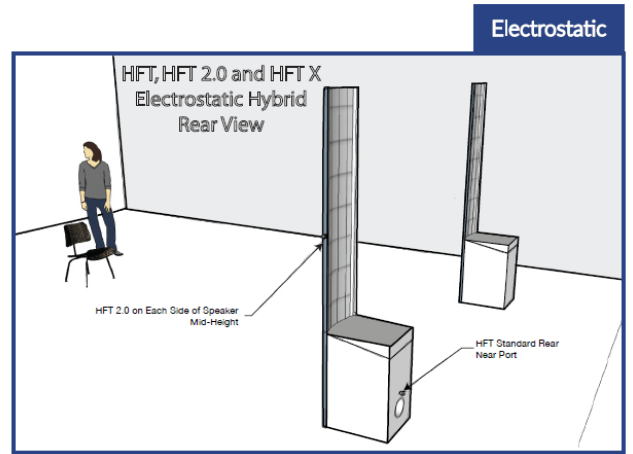
HFT2.0 を両側面に設置

HFT をウーファーの下、背面の中心(高さに対して中心)に設置

静電容量スピーカーの場合



前面



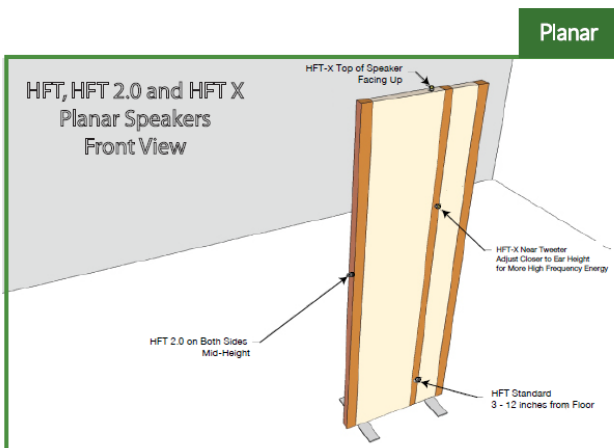
背面

HFT-X を天板と耳の高さ辺りに設置

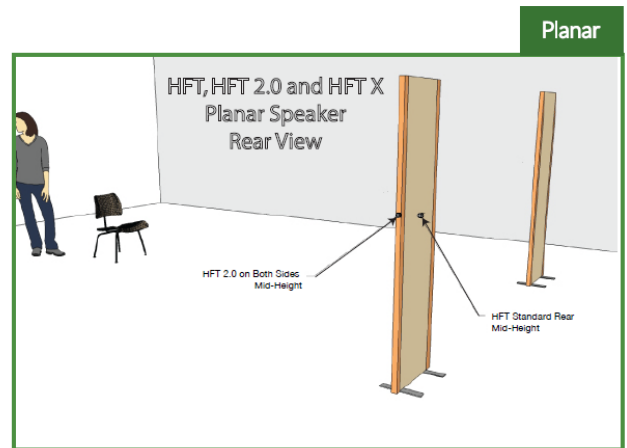
HFT2.0 を両側面の耳の高さ辺りに設置

HFT をウーファー付近、背面のポート上に設置

平面スピーカーの場合



前面



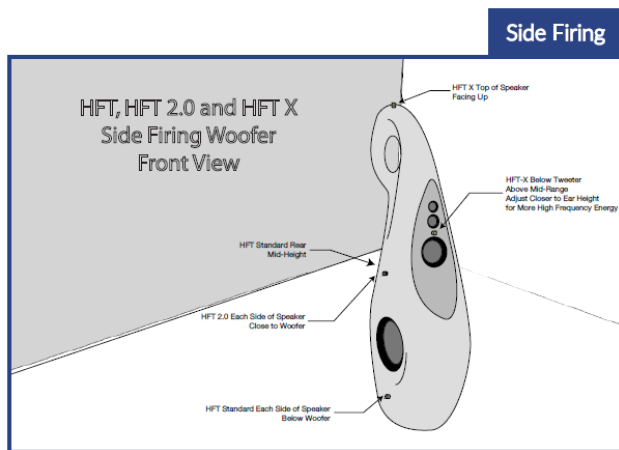
背面

HFT-X を天板と耳の高さ辺りに設置

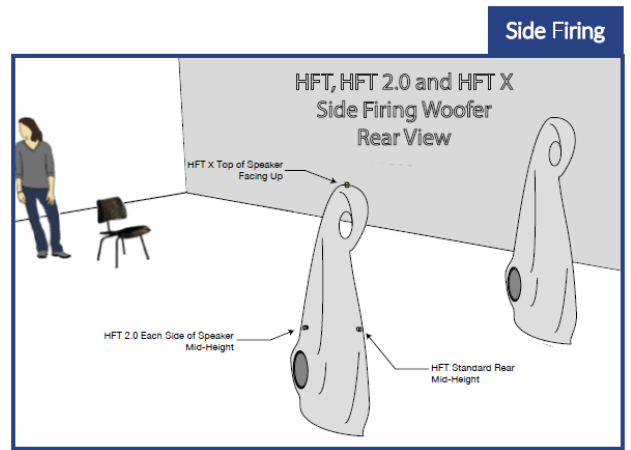
HFT2.0 を両側面の耳の高さ辺りに設置

HFT を床から 6~25cm の高さ、背面の中心(高さに対して中心)に設置

ウーファーが横にあるスピーカーの場合



前面



背面

HFT-X をスピーカーの頂点とツイーターとスコーカーの間に設置

HFT2.0 を両側面のウーファーの近くに設置

HFT を床からウーファーの下、背面の中心(高さに対して中心)に設置

HFT-X と HFT2.0 設置の際のワンポイントアドバイス

本取扱説明書ではスコーカーとツイーターの間に HFT-X を取り付ける指示となっていますが、より温かみのある音にしたい場合は、HFT-X の代わりに HFT2.0 をご使用下さい。また、本取扱説明書はあくまでも基本的なガイドラインです。取り付ける部屋の環境により実際の音場は大きく異なりますので、様々な取り付け方をお試し頂き、お客様の部屋の環境に合った組み合わせを見つけてください。

Synergistic Research 社製品に関するお問い合わせ

アイレックス株式会社 〒185-0022 東京都国分寺市東元町 3-6-13

Tel: 042-312-2887 Fax: 042-300-1175 info@eilex.jp